

基礎学力定着のために

今年度、本校では、全国学力調査の結果を踏まえ、基礎学力の定着を目指し「Kタイム(KOHOKU TIME)」を導入しました。これは、朝と午後に5教科(国社数理英)の演習の時間の確保及び学習内容の定着、技能教科(美技家)の補充学習、読書による読解力向上の時間として運用するものです。来年度以降を見据え、残りの期間は、さらに基礎学力を定着させることを目的に、K1タイム(朝の学習)の運用を以下のように変更することといたしました。

○本校の生徒の実態

- ・ A型学力よりB型学力の方が高い。
- ・ 「言語活動・読解力」、「表現力」に優れている。
- ・ 朝食の摂取等の生活リズムが確立している家庭が多い。
- ・ 家庭学習の習慣が身につけていない生徒が多い。
- ・ 行動面における「規範意識」がやや低い。

○K1タイムの今後の運用

- ①1週間を単位に教科(5教科)を変える。
- ②月～水に課題を教科担任より出された課題を行う。(個別学習、グループ学習)
- ③木曜日に月～水の課題についての確認テストを行う。その結果を、教科の評価に加える。
- ④金曜日に、そのテストの結果に基づいて復習をする。
(テストの見直し、反復、再試験など)
- ⑤プリントはファイリング(ノートに貼るなど)して保存する。
- ⑥この課題の内容も、定期試験などの範囲とする。

※これにより狙うもの

- ・ 基礎基本の定着(テストに向けて、家庭学習を促す。)
- ・ 学習方法の習得
(反復練習の大切さを理解させ、自宅で学習する習慣を身につけさせる。)
- ・ Kタイムの授業としての位置づけの明確化
(評価を行うことを明確にする。Kタイムの中で学び合い学習も行う。)
- ・ 評価と指導の一体化(生徒の状況を見て、課題や指導の内容を検討する。)

○来年度に向けて

今年度はこの方法で行い、生徒の変化について検証を行います。

来年度はこの検証をもとに改善を行って、Kタイムを運用します。

本校の生徒の実態のにも載せましたが、本校の生徒は、「言語活動・読解力」に優れているという結果が出ています。これは、「読書」や「写本」などの成果と考えられます。これもKタイムの取り入れていくことも考えています。